

第1回（平成20年度）IODP部会・執行部会 議事次第

日時：2008年4月6日（日） 12：00～13：30

場所：JAMSTEC 東京事務所 大会議室

出席者（敬称略）

執行部：川幡穂高（東京大学）阿波根直一（北海道大学）荒井晃作（産業技術総合研究所）

安間 了（筑波大学）池原 実（高知大学海洋コア総合研究センター）

井上麻夕里（東京大学海洋研究所）小平秀一（海洋研究開発機構）

坂本竜彦（海洋研究開発機構）日野亮太（東北大学）松本 剛（琉球大学）

山崎俊嗣（産業技術総合研究所）山田泰広（京都大学）山本啓之（海洋研究開発機構）

オブザーバー：

文部科学省海洋地球課 : 笹山岳大

海洋研究開発機構 国際課 : 肥田慎司

海洋研究開発機構 CDEX : 江口暢久

静岡大学 : 加藤憲二

事務局 : 中山敦志 加賀谷一茶 吉岡由紀

欠席者（敬称略）

執行部：北村晃寿（静岡大学）高澤栄一（新潟大学）

文部科学省海洋地球課：宿利一弥 戸谷洋子

議事次第

1. 掘削提案の育成に関する計画指針と科学推進専門部会の再編について [川幡部会長、山本委員、荒井委員]
2. 乗船者公募関連
 - ・ NanTroSEIZE Stage 1B Input Sites 乗船者募集開始 [小平委員、荒井委員]
 - ・ Canterbury 追加募集開始 [阿波根部会長補佐]
3. 総会議事進行確認 [事務局]
4. ISSM2008 への協力について [山本委員、加藤オブザーバー]
5. その他
 - ・ 次回開催日程について

配布資料

資料 1-1 科学推進専門部会の再編について

資料 1-2 NanTroSEIZE Stage 1B Input Sites 募集要領

資料 1-3 Canterbury 追加募集要領

資料 1-4 ISSM2008（当日配布予定）

別添 2008年 J-DESC 総会資料 一式

議事録(案)

(事前に、執行部会委員のみによる非公開の打ち合わせが行われた)

1. 掘削提案の育成に関する計画指針と科学推進専門部会の再編について

- NanTroSEIZE Stage 1B の乗船募集締め切りである 5 月 26 日までに間に合うように進めたい
- 科学推進専門部会再編を実行することは確定しているが、総会での様子次第では、今回 NanTroSEIZE Stage1B における新部会による選考・推薦実施は見送ることになる
- 西氏には、乗船募集と OTF からの航海のアナウンスをお願いする予定

2. 乗船者公募関連

NanTroSEIZE Stage 1B Input Sites 乗船者募集開始 [小平委員、荒井委員]

NanTroSEIZE Stage 1B の募集はすでにウェブにも出ており、締め切りは 5/26 である。その前に新たなノミネーション体制を作るかどうかを決めていただきたい。

- NanTroSEIZE Stage 1B は現在までにまだ応募はないが、前回(Stage 1A)も同様にぎりぎりまで応募がない状況であったので、今回も直前まで応募の状況は読めない
- 今回は USIO のキャンセル分を掘削する航海で、キャンセルされた方々にはインフォメーションを出す予定
- コーチフは未定、PMT 内で PMO に対して伺いを立てている状況

Canterbury 追加募集開始 [阿波根部会長補佐]

カンタベリーに関して、一度募集は終わっているがどうしても二人足りず、個人ベースで当たっているが厳しい状況。改めてメールニュースなどで周知を図っているが、総会においても是非会員機関の皆様へ周知を図ってほしいとコーチフの保柳氏よりお願いされている状況（おもに古生物、地球化学、岩石物性分野）

3. 総会議事進行確認

事務局による総会資料の確認が行われた。

- J-DESC 会費の口数増加を総会議事のその他報告に追加する。(例えば IFREE には IODP 関係者がおおく、口数を増やしてもいいのではないか?)
- IFREE 内のグループごとに別機関として会員になれば票数も増えるので、この検討を坂本委員にお願いした
- 2007-2008 年度は 12 万円ほどの黒字であったが来年度はコアスクール中心に支援額が増える予定であり、黒字・繰越金は減っていく見込み

4. ISSM2008 への協力について 1:00:30 頃

静岡大学加藤オブザーバーより、ISSM2008 開催に関するご説明あり

- 現在までに 6 回 EU/USA にて開催、三年に一度のシンポジウム

- ・ 今回の静岡開催ではアカデミックな展示や、「ちきゅう」のみならず IODP に関する展示もお願いしたい。微生物関係者へのアウトリーチとしていい機会。
 - ・ JAMSTEC からオーガナイズに関しては了承を得ているので、J-DESC にも内容に関するご協力をお願いしたい
 - ・ ポスターセッションの横にブースを設ける予定。乗船の流れ、J-DESC 活動の紹介などもお願いしたい。
 - ・ おととしのバンクーバーでのワークショップレポートは Scientific Drilling 誌に書かれている
-
- 地下圏微生物研究者に IODP を見せるいい機会。接点が出てくれば先々の協力者も出るのではないかと思う
 - AESTO 定番のブース展示のほかにサイエンティフィックバージョンや趣向を変えたバージョンを作ってもいいのではないか（事務局でも検討）

5. その他

次回の戦略議論は、アフタークルーズ、コアスクールなどの安全管理について、一番典型的であるコアセンターを例に話し合っ、ルール整備について議論する

終了：13時15分